

京都大学大学院経営管理研究部外部評価委員会（アドバイザーボード）

平成31年3月18日（月）10:00-12:00

法経東館地下1階 みずほホール

議事次第

1. ご挨拶 原 良憲 研究部長
  
2. 自己紹介
  
3. 業績説明
  1. これまでの経緯
  2. 現状および個別のプログラムについて
  3. 今後の展望、国際化等について
  4. その他
  
4. 意見交換
  
5. 各委員からの審査結果について  
(3月25日締め切り：提出先 総務掛 040soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

以上

## 外部評価委員会（出席者）一覧

### 【外部評価委員】

浅羽 茂 早稲田大学大学院経営管理研究科・研究科長，教授  
鈴木 順也 NISSHA 株式会社・代表取締役社長 兼 最高経営責任者  
柳 弘之 ヤマハ発動機株式会社・代表取締役会長

（ご欠席）

池坊 専好 華道家元池坊・次期家元  
分林 保弘 株式会社日本M&Aセンター・代表取締役会長

（五十音順）

### 【京都大学】

原 良憲 京都大学大学院経営管理教育部・研究部教授（教育部長・研究部長）  
澤邊 紀生 京都大学大学院経営管理教育部・研究部教授（教育部・研究部 副部長）  
河野 広隆 京都大学大学院経営管理教育部・研究部教授（点検・評価委員会委員長）  
若林 靖永 京都大学大学院経営管理教育部・研究部教授（附属経営研究センター長）

<事務陪席>

作田 真二 京都大学大学院経済学研究科事務長  
土橋 一範 京都大学大学院経済学研究科総務掛長  
伊藤 幹太 京都大学大学院経済学研究科経営管理大学院掛長

## 【主なご指摘の概要】

### 1. 現状の取り組みについてのご意見（順不同）

現在の社会情勢を的確にとらえた教育体制で、適切な教育カリキュラムを提供（複数ご意見）

現状に対する課題認識は明確で評価、ただし、それに対する具体的な方策は不明確

近年の取り組み状況及びその結果は好転している

京都らしさ（個性）を発揮しようとする姿勢を評価

プログラムとコースとの関係が不明瞭、4つのプログラムの相違点が不明確

コーネル大学との連携は大変有望（複数ご意見）。ただし、観光経営科学コースに寄せるべき？

マンツーマン指導などを評価

寄付講座は産学連携の活性化の証明、ただし流動的なため本来必要な講義とのバランスの確保を

天草など、地方の資源を生かす取り組みも評価

学生：分野、国籍・文化、ジェンダー等の多様性が進展

教授陣：分野や実務経験者の多様性は進展、

### 2. 今後の展開についてのご意見（順不同）

京都大学の資源を存分にいかし、他大学との差別化をより明確に（複数ご意見）

GSM のブランドイメージと輩出人物像の明確化を

より実務的で即効性のある教育の強化を

京風経営や特徴的な京都企業にフォーカスした教育（研究も）の検討を

社会人学生に配慮した開講場所の設定を

AI や IT 分野との連携強化を

人間の感性に近づく研究も

教授陣：国籍・文化・ジェンダーの多様化を

女性教員が少数 → 意欲的な対応を

ダイバーシティの一層の推進を

産学・産官学連携の強化を

教職員への負担が少なくかつ安定的な経営を

### 3. その他（順不同）

今回のプレゼンテーションでは、研究に関する説明が少ない

次回は、研究の独創的な取り組みの具体的事例の紹介を

同窓会活動についての説明不足

京都大学経済学研究科との関係（資源配分、ガバナンス等）に懸念